

三重教務所通信

2022

3月号



発行人:三重教務所長 安田 雅
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



○内局巡回が開催されました

去る1月31日に三重教区内局巡回が開催されました。今回の巡回は、「まん延防止等重点措置」が三重県において適用されている最中での開催であったため、感染拡大防止対策として三密を避けるため、教区内住職の協力の基、会場を桑名別院、中勢1組託縁寺及び南勢2組立雲寺をオンラインで繋ぎ、3会場同時進行のライブ配信にて行いました。



桑名別院(北勢会場)

また、教区内の方が自宅からオンラインで視聴できるように準備を行い、当日は各会場に41名、オンラインで46名、合計87名の参加がありました。

当日は、酒井良参務、梯 宗 宗務改革推進本部事務部長、栗津大 隆 宗務改革推進本部次長が出向しました。まず、内局員より、宗務の現況報告を含めた宗務改革(行財政改革)の推進に向けての趣旨説明が行われ、次に花山孝介教区会議長より代表質問が行われました。その後、南勢会場、中勢会場、北勢会場、オンライン参加者の順に一般質問が行われ、それぞれ内局より回答されました。

各会場およびオンライン参加者からは様々な質問や多くの意見が寄せられ、終了予定時刻を30分延長しました。



花山孝介 氏(代表質問)



酒井 良 氏(参務・財務長)

※ 内局巡回の質問及びその回答内容については、別紙(要旨)のとおり報告します。

○教区会副議長及び参事会員の異動について

去る2月8日に教区会（臨時会）が開催され、教区会副議長に伊藤宣章氏が互選されましたので報告します。なお、伊藤副議長が参事会員であったため、参事会第一補充員の藤崎信氏が参事会員に就任しましたので報告します。

教区会副議長 伊藤宣章 氏（四日市組西福寺）

教区会参事会員 藤崎 信 氏（長島組浄福寺）

○教区門徒会員及び三重組門徒会副会長の異動について

教区門徒会員の藤牧初彦氏（三重組随法寺門徒）の逝去に伴い、金津正嗣氏（三重組三嶽寺門徒）が教区門徒会員及び三重組門徒会副会長に就任しましたので報告します。

○「花まつり子ども大会」について

このたび、「花まつり子ども大会」を別紙チラシのとおり開催します。

なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、定員を50名とし、事前申し込み制としますので、ご承知おきいただくとともに、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。



期日：4月4日（月） / 会場：桑名別院

○研修会(公開)のお知らせ

得度義務研修会

- ◎日 時 3月29日（火）9時～16時
- ◎会 場 桑名別院本堂（桑名市北寺町47）
- ◎講 師（大人班） 片山 寛隆 氏（三講組相願寺住職）
（子ども班及び声明作法）山崎 信之 氏（南勢2組福壽寺住職）
- ◎対 象 満9歳以上で、2022年5月以降に得度受式を希望する者

真宗と社会問題 公開講座

- ◎日 時 4月15日（金）13時30分～16時
- ◎会 場 桑名別院本堂（桑名市北寺町47）
- ◎講 師 佐野 明弘 氏（石川県 光闡坊住持）
- ◎講 題 真宗と社会問題
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込みください。
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ※ 詳細は、先月号同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

帰敬式執行者研修会

- ◎日 時 4月22日(金) 13時30分～16時30分
- ◎会 場 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 尾畑文正氏(員弁組泉稱寺前住職)
松田 憶氏(本廟部式務所堂衆)
- ◎対 象 帰敬式執行に携わる教区内僧侶及び門徒
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込み
ください。
- ※ 参加費は無料です。
- ※ 詳細は、先月号同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照
ください。

『是旃陀羅』問題公開学習会

- ◎日 時 5月9日(月) 15時～17時
- ◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)
- ◎講 師 片山 寛隆氏(三講組相願寺住職)
- ◎内 容 「『是旃陀羅』問題について」
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

ジェンダー問題に関する公開講座

- ◎日 時 5月10日(火) 13時30分～16時30分
- ◎場 所 三重同朋会館3階講堂
- ◎講 師 岡 久美子氏(シニアライフ研究所 りあもでんな代表)
- ◎内 容 「私の困ったはみんなの困った」～ お寺でできること～
- ◎参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。
- ◎申 込 三重教区・桑名別院ホームページ：<https://mie-betsuin.com/> から申し込み
ください。
- ※ 詳細は同封のチラシもしくは三重教区・桑名別院ホームページを参照ください。

3月のテレホン法話

3月 1日～15日 …佐々木 大 氏 (伊賀組 正崇寺衆徒)
3月 16日～31日 …伊藤 英基 氏 (四日市組 本誓寺住職)

心をひらく

24時間 いつでも どこでも テレホン法話
☎ (0594) 23-6191

【敬 弔】生前のご功勞を深謝し謹んで哀悼の意を表します

中勢1組 本福寺 住職 岡本尚比古(2022年2月1日寂)

(敬称略)

○ 教化推進総務会

・1月25日及び2月15日に会議を開催した。協議案件は「教区合同協議会」について。今年度の協議会は、来る5月2日(月)、教区教化委員各小委員会及び各団体から2名、計20名程で開催する。内容は、①「宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け大会」を迎えるにあたり、慶讃テーマの受けとめを行い、その受けとめを「2022年度 教区教化研修計画概要」に則り、次年度の担当教化事業計画に反映していく方途について協議する。②今後の三重教区の教化事業内容と教化体制について意見交換を行う。次回は4月14日(木)午後1時30分から開催する。

○ 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に係る企画要員会議

・1月24日に第6回作業部会及び2月16日に第5回全体会を開催した。協議事項は「三重教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け大会」の現在までの企画案を確認した。このたびの大会は、できるだけ多くの教区内関係者に主体的に関わってもらいたいとの話し合いから、教区教化委員、教区門徒会員、教区坊守会、別院列座及び婦人会など当日のスタッフとして就任いただき大会を迎える予定。今後、執行体制やタイムスケジュールなど検討を重ねる。

次回は作業部会(第7回)を3月4日(金)、全体会(第6回)を4月26日(火)に開催する。

○ 特伝推進本部

- ・1月21日「第1回講師・補導特伝研修会」は高柳正裕氏を講師に迎え、対面・オンライン併用で開催。特伝本部員を含む18名が参加。氏は「他者から評価され、捨てられることを恐れる「私」が、他者を評価し、点数を付けながら他者と出会い続ける。その関係においては現代人共通の深い意識としてある「孤独感」から解かれることはない。目の前の人と本当に出会うこと、目の前の人のお話を本当に聞くことが、どのように開かれていくのか。特伝を通じて共に尋ねていきましょう」と呼びかけられた。
- ・2月7日「特伝合同協議会」開催に向けた課題整理のため、本部長・主任会議を開催。
- ・2月18日にオンラインによる月例会議を開催。(i)第12次特伝による補導の任用案他について。(ii)第12次特伝以降のブロック編成について。(iii)「中勢ブロック特伝合同協議会」開催(3/14予定)について。(iv)「講師・補導特伝研修会」開催(2/21予定)について。(v)「修了アンケート」改訂について等を協議し、(vi)各組進捗状況。(vii)教化推進総務会の報告がなされた。
- ・2月21日「第2回講師・補導特伝研修会」に高柳正裕氏を講師に迎え、対面・オンライン併用で開催。特伝本部員を含む20名が参加。氏は「『大経』に説かれる「去来現の仏、仏と仏とあい念じたまえり」という、諸仏が念じあっておられる世界へ、教えにより私が開かれる。これが「時機純熟の真教」ということです。諸仏の世界とは去来現の仏が今「時間・空間」を越えて念じあえる世界です。それが「同一念仏」ということだと。そういう意味で念仏とは「自分が楽になる」ことではなく、他力をたのみたてまつる「悪

人」に「拝みあう関係が開かれる」ことだと。このことを親鸞聖人は『教の巻』に「真実教の明証なり」と教えてくださっているのです」と語られた。

○ 寺族門徒研修小委員会

・2月14日に会議を開催した。協議内容は今年度事業について。真宗の仏事の回復に資する資料の作成については今年度も法語ポスターを作成するが、今年度は作成する5種類のポスターの筆耕をそれぞれ5人の筆耕者に依頼し作成する。また、5月に開催予定の教区育成員研修会について、その開催形態について検討した。育成員研修会はコロナ下により2年間延期という判断をしている。コロナ以前は、2日間の日程で研修時間を十分に取り、座談会を行う形式で開催してきたが、今回はコロナ対策をとる中で、定員を設け、食事や移動を極力少なくし日程を短くして開催する。

また、慶讃テーマの学びとして、片山純子委員及び伊藤たね子委員が感話を行った。

次回は、4月22日（金）午前10時から開催する。

○ 社会教化小委員会

・2月1日に会議を開催した。協議内容は今年度事業及び次年度事業計画について。今年度の事業については、真宗と社会問題のテーマで4月15日に公開講座を開催、また、ジェンダー問題に関する公開講座を5月10日に開催する。（今月号にチラシを同封）ジェンダー問題に関する公開講座は、コロナ下ということもありオンライン中心の講座として開催する。また、事業計画については、次年度においても引き続きテレホン法話を実施するため、その講師について委員より推薦を行った。

次回は3月7日（月）午後1時30分から開催する。

○ 教区「差別と人間を考える」協議会常任委員会

・2月17日に会議を開催した。まず、5月9日（月）に開催予定の公開学習会について（今月号にチラシを同封）、当日の役割分担を確認した。次に、今年から当派が三重同宗連（同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議）の議長教団になることから、同宗連事業の研修会に積極的に参加するよう確認した。また、総務会事業である、「教区合同協議会」について、正副会長が出席することを確認した。慶讃法要については、10月8日の大会について確認するとともに、今後、慶讃テーマの学びとして、委員それぞれの受け止めにつて感話を行う。次回は、4月7日（木）10時から開催する。

○ 教学研究室

・2月10日に月例会が対面・オンライン併用で開催され、研究員10名が参加。藤嶽室長の『観経疏・序分義』「厭苦縁」の講義に続いて質疑応答・座談の中で、室長は『愚舎鈔』に説かれる「厭離真実、欣求真実」に触れながら「人は苦しみを抱えて生きていますが、その中で人は、仏教が課題とする「生死を出離する」という事柄が問題になるだろうか。「苦」や「悲」の経験から人は仏教に心が向かい、仏教に尋ね入っていくだろうか。そういうことがはたして人の身に起きるだろうか。そういうことも含めて、ここで『観経』は「厭苦、欣浄」という内容で、人間が持つ大きな課題を提示しています」と発言された。

○ 教区坊守会

・2月21日に役員会を開催した。まず、コロナ下のため、5月11日に延期した現地研修について。桑名別院の出発時間を7時15分に変更し、再度チラシを送付することを確認した(今月号に同封)。次に次年度の事業計画及びスケジュールの話し合いをした(慶讃法要を意識したスケジュールを組む)。また、東海連区坊守研修会の進め方について、2015年度の資料(前回の三重当番)を参考に確認した。その他『坊守会だより』について、教区合同協議会・特伝合同協議会及びジェンダー問題の公開講座への参加について、10月8日の教区慶讃法要お待ち受け大会の坊守会の役割について、さらに4月25日の教区若坊守研修会について打合せを行った。次回役員会は3月10日に開催予定。

○ 書籍のご案内

『浄土真宗とは何か—『教行信証』のこころ—』

金子大榮 著

定価：825円(税込)

「真宗とはどのような教えですか？」小さな子どものこの問いに、仏法の聞思と伝道に生涯を尽くした学僧はどう応えるのか…？

“真宗を青少年にもわかるように、という願いのもと、近代真宗教学の礎を築いたひとり、金子大榮氏が、親鸞聖人の主著『教行信証』の要所の意識をまじえつつ、明快に語った一冊。



『人間で在ることの課題』

中川皓三郎 著

定価：275円(税込)

小鳥が啼かないでいられず魚が泳がずにいられないように、人間は何をしないでいられないだろうか。何をもって私たちは、本当に人間らしい人間といえるのだろうか…。

人と生まれた私たちが、誰もが応えていかねばならない、「もっとも人間らしい人間になる」という課題を、釈尊(お釈迦さま)、そして親鸞聖人の教えにたずねる一冊。



今月の法語

自分で自分の始末を

つけ得ないのが人間の悲しさである

高光大船（1879～1951）

晴耕雨読（教務所員から）

教区駐在教導：高科 行

忘月某日、本山総務部から「宗務役員の職務状況等を把握し、職員の養成や適正な配置、円滑な業務遂行を図ることを目的として、職員に対する面談を実施します。（中略）職員は所属長との面談に合わせ「面談シート」を作成し、所属長に提出ください」との通知が届いた。全宗務役員を対象とした「所属長との職務内容、職場環境についての個人面談」は宗務史上初めての実施だ。通知文中の「厳秘の取扱い」の語に緊張する。

けれどもこの通知は「従来のテキストで行き当たり場当たりの人事に自信がなくなったので、皆さんも一緒に考えてね」と読めなくもない。総務部が「慚愧」しているのだ。

いやいや油断してはナラヌ。正直な「面談シート」を提出した直後、遠く北海道や九州への異動が待っているとも限らない。単身赴任となれば妻からの辛辣な叱責の声は免れないだろう。待てよ、筆者のような老害駐在を引き取る教区はないか。ホッと胸をなでおろす。

ンーしかし宗務改革（行財政改革）を「一丁目一番地」としている現内局に、人員削減の口実を与えることになる。「同朋社会」の理念を空文化させた集団は信頼するに足るのか。グループ・ガバナンスを失い、迷走する「人類に捧げる教団」に未来はあるのか。「疑謗を縁として、信樂を願…（アト何だっけ）」オレの老後はどうなるっ。と思いはチリジリに乱れ、アドレナリンは上昇し、動悸が高まり「面談シート」を持つ手は震える…。

教区の良識ある皆さんへ。異動の有無によらず「忖度したな」「山下 JOC 会長並みのイエスマンだな」などと決めつけないでね。





日	曜	行事内容
1	火	
2	水	教誨師学習会 13:30-
3	木	門徒戸数調査委員会及び組長会 14:00-
4	金	慶讃法要企画要員会議(第7回作業部会)13:30-
5	土	
6	日	
7	月	社会教化小委員会 13:30-
8	火	
9	水	教区寺院活性化支援室設置にかかる会議 13:30-
10	木	教研月例会 13:30-
11	金	合唱団「ひかり」練習 12:00- / 勿忘の鐘つどい 13:30- / 児連月例会 15:00-
12	土	寺院活性化支援室事業「中勢2組・同朋法話会②」(於:浄得寺)13:00-
13	日	
14	月	中勢ブロック特伝合同協議会 13:30-(於:松林寺) / 【連区】教誨師研修会 15:00-(於:大垣教務所)
15	火	
16	水	三重同宗連後期研修会
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	特伝本部会議 13:30- / 花まつり実行委員会 14:30-
25	金	合唱団「ひかり」練習 13:00-
26	土	「福島の子どもたちを三重へ」プロジェクト(~30日まで)
27	日	
28	月	
29	火	得度事前研修会 9:00-
30	水	
31	木	北勢ブロック特伝合同協議会 13:30-

① ご坊さんだより ②内局巡回報告書 ③ジェンダー問題に関する公開講座チラシ ④花まつり子ども大会チラシ ⑤聖典基礎講座チラシ ⑥『差別と人間を考える』協議会公開学習会チラシ ⑦坊守会現地研修会チラシ ⑧若坊守研修会チラシ ⑨桑名別院人生講座チラシ・ポスター ⑩桑名別院春季彼岸会チラシ・ポスター ⑪婦人会だより ⑫勿忘の鐘つどいチラシ ※ポスターは寺院のみ